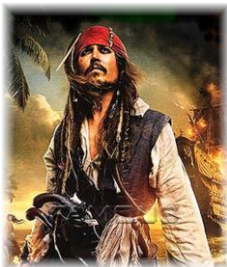


Functioning, Disability in OT  
Presentation data 2



## 精神医療・保健・福祉領域の 治療・援助の動向と作業療法

Hiroshi Yamane ; OTR, PhD  
Chairman of Society of Human and Occupation-Life:SHOL  
Professor Emeritus of Kyoto University



この国に作業療法士が誕生して  
半世紀  
作業療法を取り巻く世界は大きく変わり  
新たな未来への転舵を余儀なくされている  
精神科作業療法はどこへ向かうのか  
どこに向かえばいいのか  
精神医療・保健・福祉の歴史的航跡を羅針盤に  
新たな視野から  
精神科作業療法を目指す航路を拓こう



## 歴史的航跡:明治の先駆者たちが学んできたこと

秀三 (1865～1932) 1898～1901年欧州留学。ドイツで学んだ作業療法を現東京都立松沢病院で実践。無拘束と作業により隔離、監置、器具による拘束処遇の一掃

移導療法 { 作業療法 { 生産的肉体作業  
                  { 不生産的身体作業  
                  { 精神作業  
遺散療法—受動性精神的作業(読書、観劇、旅行など)



Hermann Simon (1867～1947)

精神病院における積極的治療, Aktivere krankenbehandlung in der irrenanstalt

臥床、拘束による廃用性機能低下 → 無拘束、開放、作業  
ひとの関わり → 親しみのある導き、垂範  
作業の種類 → 治療効果を優先して選択  
                  { 病状に合わせて選択し段階づける  
                  { 正常で健全な行動欲  
                  { 惰性で楽な作業依存を避ける

集団と環境への配慮  
鎮静剤の使用は短期間



## 歴史的航跡:管修はすでに感知していた

管 修(1901～1978)

作業療法の奏効機転要約 (精神経誌77)

1. **作業欲**は本来人間の**基本的欲求**の一つ  
心身の健康や障害に大きな影響がある
2. 適度であれば心身諸機能の**活動促進**, 機能低下防止
3. 新陳代謝増進, 食欲, 便通, 睡眠その他体調をととのえ, 基礎気分を**快適**に維持
4. **生活のリズム化**をはかるのに有効
5. 病的概念より**正常概念**に注意をむける
6. 病的な意志行為にむけられるエネルギーを**正常行為**におきかえる
7. 支離滅裂な行動を**正常な軌道**にのせる
8. 意志減退した患者の**活動性**を徐々に恢復
9. その成果が**満足感**を味わわせ, **自信**をとりもどさせ, 劣等感を弱めさせる
10. 他人との**連帯感**を養わせ, **社会性**を回復, **他人への寄与的生活**を可能
11. 感染症や疾病に対する**抵抗力**をたかめる

## 治療・援助の動向と作業療法の課題

作業療法全体や作業療法を取り巻く環境に関して

- 世界的な少子高齢化現象
- 科学の進歩とグローバル化
- 疾患構造の変化
- 医療の進歩と治療医学の限界
- 作業の見方用い方(還元的分化から新たな統合)

精神科作業療法に関して

- 医学モデルから生活モデルへ
- 回復状態に応じた作業療法(急性期対応と高齢化に伴う問題)
- 入院医療中心から地域生活中心へ
- 病院や施設の構造転換に応じたプログラム



作業療法の対象 場 作業 領域

## これからの精神科作業療法：対象疾患・障害

精神疾患・精神障害→精神認知機能の疾患・障害

旧来の精神疾患・障害

認知症

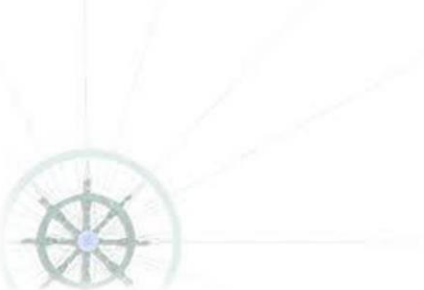
高次脳機能障害

自閉症スペクトラム

リハの障壁となる抑うつ状態

司法精神医療

その他



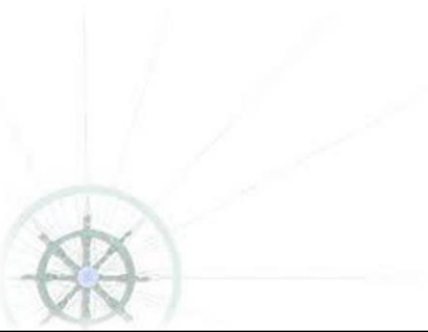
## これからの精神科作業療法：関わる場

精神科病院 ⇒ 福祉領域 対象者の生活の場

急性期や緩和期は必要な医療環境が整っている施設

基本的には対象者が生活している場

居宅 グループホーム 生活支援施設 その他



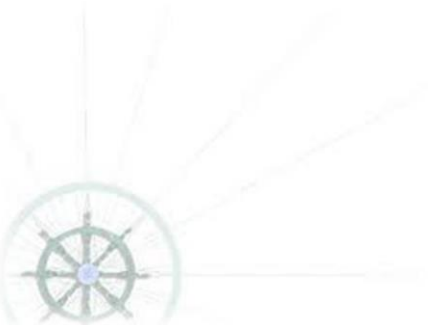
## これからの精神科作業療法：支援手段(作業)

今行われている支援手段(作業)を見直そう

なぜ生活に必要な基本の作業(生活行為)がないのか  
まず必要なことは何か



日々の暮らしにおいて目的と意味のある作業(生活行為)を  
もちいて意味ある暮らしを取り戻す寄り添いを



## これからの精神科作業療法：関与する領域

### 精神科作業療法に関して

- 医学モデルから生活モデルへ
- 回復状態に応じた作業療法(急性期対応と高齢化に伴う問題)
- 入院医療中心から地域生活中心へ
- 病院や施設の構造転換に応じたプログラム

